

昭和34年7月20日
第3種郵便物認可 (毎月10日発行)

広報



948-01

中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 02576-8-3111)

発行 町長 根津正三 編集 総務課文書広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社

かわにし

昭和56年 1/10 No.269

人口の動き

-1月1日現在-

男 5,030 (+2)

女 5,080 (+4)

計 10,110 (+2)

世帯数 2,355 (+1)

() 前月比較



新春恒例の消防出初め式が、四日に行われました。午前10時、千手神社境内には、第一分団、第二分団の団員が勢ぞろい。喜れから降り続けている雪が、容赦なく降りかかってくる中での式典でした。昨年、十二月二十四日に原田で保育園児が亡くなるという痛ましい火災が起こっています。火事は、ちょっとした不注意がもとです。今年こそは、無事故、無火災にとみんなで祈願をしました。

1月の休日救急医

11日	至誠堂	医	院	(西浦)
15日	池田	医	院	(本町西)
18日	山口	医	院	(袋町)
25日	富田	医	院	(神明町)

2月上旬の予定

1日	中条	病	院	(中条)
8日	大島	医	院	(川原町)
11日	山口	医	院	(下条)

1/5 15:00

豪雪対策本部設置

◎お互いが協力しあいましょう

- 路上駐車は除雪の防げ!
- 事故のないよう細心の注意!
- プロパンボンベは固定しよう!

議会報告

第八回町議会定例会が、先月十八日から二十三日までの会期で開かれました。

審議日程は、十八日に町政に対する一般質問と条例改正など、二十二日には、五十四年度の各会計の決算認定を、また、二十三日にも条例改正と、それに各会計の補正予算などという順で行われています。

ここでは、そのうちの主なものを取り上げてみました。

12/18

一般質問は四氏 使用料条例の改正も

●専決処分の承認

▽昭和五十五年一般会計補正予算（第六号）

八百九十九万五千円を追加して、総額を二十五億一千九十三万三千円としました。主なものは、駐車場造成工事請負費（栄行寺様前）の七百九十九万円です。

▽昭和五十五年一般会計補正予算（第七号）

千八百四十七万九千円を追加し、総額は二十五億二千九百四十一万二千円です。道路改良舗装工事（町道山野田原栄町線など）が千二百六十五万円で一番大きなものとなっています。

●請願関係

▽橘小学校校舎築改築を
▽町道節黒城趾線改良舗装工事と

節黒城趾観光施設整備を
▽野口部落内（町道野口大原線）
消雪パイプ布設を

●町政に対する一般質問

◇登坂 茂議員 町へき地教育振興協議会への町補助金が打ち切られたが、復活していただきたい。

◇根津町長 国も地方も財政難である。法令外負担金などについては厳しく規制する方針であり、その数を一つでも減らすことが望ましい。へき地教育振興会は町教育振興会の類似団体とみなし、そちらの方の町補助金は増額しているの、その中から配分を受けてほしい。へき地教育振興会は、強固な団結力を示しており、その活動によってへき地校を脱却することにも期待されている。

◇田中三郎議員 小河川下流域域関係者は、洪水時の護岸や汚泥水流入、上流でのゴミ投棄などによる不利益を受けているが、その対策について。また、最近町内での交通事故件数が増加しているが、事故防止対策についての考えは。

◇根津町長 小河川下流域域住民が被っている不利益については、以前にも議会で取り上げられた。千手地区では、集落内雑排水の処理として、フラッシュ事業を重点的に進めている。いろいろと行政においては、方策を講じている。環境衛生は全町民の協力がなければ功を奏さない。

交通事故防止の問題は、まず飲酒運転追放意識の高揚を図ることから。これには飲酒運転防止署名簿を各交通安全協会支部ごとに行うことなども方策。また、交通安全全町民憲章も考えてみたい。

◇戸田専治議員 条例の「不具廃疾者」という侮蔑的な用語を改めてはどうか。また、十日町市内に町立歯科診療所を開設したことは条例違反ではないか。

◇根津町長 侮蔑的用語の改正については同感である。法律用語であるだけに、政府見解に基づいて改正したい。

出張歯科診療所については、将来は町一本にしようことが望ましいが、県の指導を受けて今日

町史コーナー

●資料提供者（敬称略）

高橋茂雄（坪山）、丸山茂吉（根深）、青木利栄（小脇）、星名四郎（上野）、清水喜久市（中屋敷）、小林作一郎（中屋敷）、藤本秀雄（伊友）

●主な提供資料（一）（内西暦）

・妻有之内坪山村御検地帳（二六八二年）
・公儀倭約掟触書（二七八二年）
・小前銘々持高控帳（一八四九年）
・書状―法眼鬼一から源九郎にあてたもの―（一一八四年）
・書状―義経から西塔武蔵にあてたもの―（一一八四年）
・以上二件の書状は、江戸時代に模したものと推定される。
・乍怒以書付奉願上候―上野市場開設の願い―（一二七五九年）
・室町時代の銅

会津戦争と

川西町……②

製合わせ鏡
以上総数百九十一件
（十二月末日）

四月二十七日、池ヶ原に野営した征討軍部隊が夜明けを待って小千谷の街へなだれ込み、支援を急ぐ歩兵組の面々と、後続諸藩の行李隊が悪路の善光寺街道を埋めつくした。上野村まで衆家の軍用品継ぎ送りを命ぜられた千手会所は、松代御藩の三井安次郎隊に人足四十四人と本馬六頭、高田藩に人足四人、尾州藩にカゴ一丁と人足七人、飯田藩に人足八人と本馬一頭、高遠藩にカゴ五丁と人足十八人をそれぞれ差し出して搬送した。後方連絡で山谷へ急ぐ松代御藩の西角安左衛門一行には道案内三人を付け、高田藩に人足九人、尾州藩に人足七人とカゴ二丁を手配して山谷村へ往復した。

四月二十八日、松代御藩の寺嶋音之丞がカゴに乗り、継ぎ人足十四人を従えて上野、山谷間を往復した。長州藩の諏訪廉三隊が、千手会所で差し出した人足三十八人に武器、弾薬を持たせて上野へ向かった。この日の上野村は、小千

12/22 54年度の各会計

総額で8,100万円の黒字

五十四年度の各会計の決算については別表のとおりです。

この年も、財政運営は苦しかったのですが、一般会計で四千六百九十万円の黒字となりました。また、特別会計においても、四つの会計で翌年度への繰り越しをみており、健全財政だったといえます。

なお、一般会計の決算状況は、詳細を別掲としたのでご覧ください。

54年度 各会計の決算状況

単位：円

会計区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	2,727,382,822	2,680,892,589	46,490,233
国保事業勘定	403,681,293	392,721,500	10,959,793
国保施設勘定	73,182,439	63,825,723	9,356,716
仙田へき診会計	14,581,357	19,513,140	△ 4,931,783
歯科診会計	27,670,346	39,280,429	△ 11,610,083
農業共済会計	67,805,507	37,963,142	29,842,365
簡易水道会計	164,089,056	162,324,809	1,764,247
合計	3,478,392,820	3,396,521,332	81,871,488

に至っている。十日町市でも、定例会に、施設の設置に関する協議についての提案をさせていただく。二十三日にこの条例の全面改正を提案する。

◇戸田哲次議員 国鉄再建法案と飯山線の将来および北越北線の見通しについて。

◇根津町長 国鉄再建法は全国的に大きな波紋を投げかけている。飯山線は存続に向けて、住民こそつてしっかりと運動をしなければならぬ。また、北越北線について。

●条例の改正

▽特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

▽川西町職員の給与に関する条例の一部改正

▽寒冷地手当の支給に関する条例

ては、県知事はやってもらうと言っているが、全線貫通の見通しはついていない。松代―十日町―六日町の部分開通だけでもやってもいい。

の一部改正

▽川西町使用料条例の一部改正

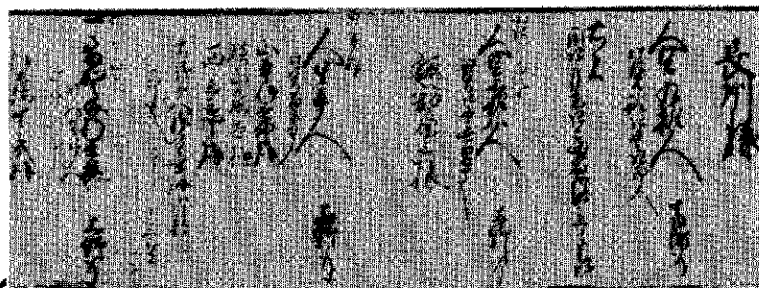
役場出張所、連絡所の使用料が次の表のように付け加えられました。

施設名	納入区分	単位
橋出渡所	公益の費用を目的とする	大会議室 小会議室
上野連絡所	公益の費用を目的とする	大会議室 小会議室
とき	当たり	二三百円 五百円

※一時間に満たない場合も一時間とみなす。

※暖房使用は五〇％を加算する。

▽川西町農業共済条例の一部改正



谷方面へ急ぐ諸藩にかきまわされて終日大さわぎをしたようである。当時、大肝煎格であった星名家文書によると、昼九時半（午後一時）を過ぎたころから暮六つ（午後六時）にかけて、薩軍方の歩兵組およそ四百二十人が来攻して上野、祖師、下平新田の村々に宿陣した。星名家には総大将今井信郎の御本隊と御目付衆、それに輜持の梶原勇三郎、村越仲右衛門ほか百四十五人が宿をとり、祖師村の林右衛門（根津町長宅）には数兵中隊の甲乙組三十八人が宿陣したほか、次の各戸に宿泊した。

千手会所では、松代御藩の宮川国蔵と高田藩の春日与吉に長持二さおを調達し、人足八人で上野村まで運んだ。高田藩には長持のほかに人夫二十八人が付けられた。松代御藩の早カゴ二丁が山谷へ飛び、尾州藩も御用のカゴ四丁と人足十六人を山谷へ往復させた。高田藩の荷物も山谷に到着し、山野田村の百姓九人が受領してきた。

西永寺二十五人、今井太夫（太夫様）七人、源左衛門（不詳）十三人、伴治郎（田村俊一宅）九人、儀左衛門（松沢賢治宅）十人、新治郎（高橋チカ宅）八人、市左衛門（金子守平宅）十人、善右衛門（不詳）十二人、紋之助（茂助、絶家）上長役、下長役を含めて三十六人、弥兵衛（樋口一衛宅）二十八人、友七（新屋敷、絶家）十三人、祖師村の善左衛門（不詳）三十四人、源助（清水良家宅）七人、下平新田の治郎左衛門（上村稔宅）十二人、五右衛門（上村忠男宅）八人、祐徳（清水朝次宅）に三人。

御本隊となった星名家には、どこからか歩兵組が首包を持参し、これを目撃した下男が福蔵が驚いて店に注進している。新町新田の南沢川には血だらけの生首が二個も捨てられてあった。

四月二十九日、前夜四つ（午後十時）時分から、縄手の道を元町へ向けて行動を開始した薩軍方は、明六つ（午前六時）までに全員が土橋、新町新田村を経て仁田、野口村方面へ進発した。うち、友七に泊まった十九歳の兵隊一名が戦争をきらって脱走し、霜条の寺方へ弟子入り志願して庄屋所をあらわてさせる一幕があった。

五月朔日、長州藩の伊藤生茂がカゴで上野に向かい、横山藤太、山本伊三郎、西三郎の三名が道案内一人を付けてあとを追った。上野から千手に引き返した高田藩の寺嶋誠太郎が、人足九人を連れて山谷へ向かった。この日は諸藩御用の小走りが上野、千手、山谷間を幾度となく往復した。雪峠を敗走した会津軍が桑名軍と合流し、片貝村で戦力を整えた日である。

改正された国民年金のポイント

年金の種類など		改正前（月額）	改正後（月額）	実施年月日
拠	老 齢 年 金	・ 25 年年金	39,225 円	42,000 円 55. 7. 1
		・ 10 年年金	24,741 円	26,550 円
		・ 5 年年金	20,108 円 (8 月から)	21,600 円 22,600 円 55. 8. 1
出	障 害 年 金	・ 1 級	49,792 円	52,250 円 55. 7. 1
		・ 2 級	39,833 円	41,800 円
年	母子・準母子 遺児年金	子らが1人のとき加算額の引上げ	39,833 円	41,800 円
		・ 第2子	2,000 円	5,000 円
		・ 第3子以後	400 円	2,000 円
金	母子・準母子 年金	・ 母子・準母子加算	-	15,000 円 55. 8. 1
		・ 他の公的年金との調整	支給停止率は 1/3	支給停止率は 2/5 55. 10. 31
金	寡 婦 年 金	・ 支給条件の改善	届出時が10年以上継続している	事実婚（内縁関係）でもよいことになった 55. 7. 1
		・ 支給条件の改正	母子・準母子年金に支給していた	母子・準母子年金は支給しない 55. 10. 31
保 険 料	・ 定期保険料の改定	3,770 円	4,500 円	56. 4. 1
		その後は毎年4月に段階的に引き上げる		
福	老 齢 福 祉 金	・ 明治44年4月1日以前に生まれた人	20,000 円	22,500 円 55. 8. 1
		・ 1 級	30,000 円	33,800 円
		・ 2 級	20,000 円	22,500 円
社	母子・準母子 福祉年金	子らが1人のとき加算額の引き上げ	26,000 円	29,300 円
		・ 第2子	2,000 円	5,000 円
		・ 第3子以後	400 円	2,000 円
年	老齢・母子・準母子 福祉年金	・ 他の公的年金との併給制限限度額	(年) 410,000 円	(年) 450,000 円
		・ 老齢・障害福祉年金(夫婦の組合)	(年収) 208 万円	(年収) 216 万円
金	所得制限 (本人)	・ 母子・準母子福祉年金(子1人の場合)	(年収) 347 万円	(年収) 361 万円



▲ 定例会 答弁する町長

議会報告

12/23

一般会計の補正 四百十六万円を減額

●可決されたもの

- ▽川西町立歯科診療所の設置及び管理に関する条例制定
- ▽区域外における公の施設の設置に関する協議
- ▽十日町市に公の施設を使用させることに関する協議
- ▽学校法人に対する財産の譲与に関する条例制定
- ▽十日町地域視聴覚ライブラリー

これらは、十八日の一般質問にあった出張歯科診療所の問題を、条例の改正と十日町市との協議により、合法的に管理、運営するための手続きです。

協議会の廃止
▽十日町視聴覚ライブラリー利用の事務委託
▽昭和五十五年度一般会計補正予算(第八号)
四百十六万八千円を減額して、総額は二十五億二千五百二十四万四千円となりました。減額の主なものは、農村総合整備事業費のうち工事請負費で三千二百三十四万円、それに坪山城跡発掘費の二百五十万五千円がそっくり削られました。増えたものとしては、給

与条例の改正による分が主で、ほかには農業振興費の四百三十六万一千円、水田利用再編対策費の三百九十九万一千円などがあります。また、特別会計についても、それぞれ補正されています。
▽専決事項の指定
▽北方領土早期復帰に関する決議
▽靖国神社公式参拝に関する意見書の提出
これら三件は発議案として出されたもので、原案どおり可決されました。

ねん

きん

ふくし

福祉年金などの

受給の方に

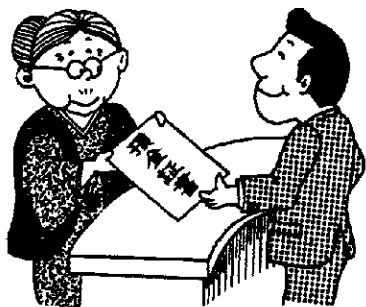
有利な預金制度!!

福祉年金と児童扶養手当、それに特別児童扶養手当受給の方に限り、特別措置による有利な定期預金制度が設けられましたのでご利用ください。

え、郵便局、信用組合、各銀行の窓口でお取りください。
なお、不明のことは、役場年金係へ。

- ①対象預金 預入期間一年の定期預金
- ②預入限度 一人百万円以内
- ③取扱期間 昭和五十六年十一月三十日まで
- ④利率 年利七・七五パーセント

手続きは、各証書を持参のう



合併二十五周年

さらに決意を新たに

町長 根津 正三



昭和五十六年の輝かしい新春にあたり、皆様のご健康とご繁栄、そして限りないお幸せを心からお

祈り申し上げます。

今年はいよいよです。二ワトリの話で日本でも古くでてるのは、古事記の天の岩戸の

神話で、天照大神（あまてらすおおみかみ）を岩戸からお出しするために鳴く常世の長鳴鳥であるといわれています。太陽を呼び出し、明日を告げるのが二ワトリです。

今年はいよいよ年にあやかっ、幸せを呼び出して、豊作や商売繁盛を呼び出して、もう一年にしたいと存じます。そしてまた、トリにならって、早寝早起の習慣をつけ、時間を守り時をたいせつにする年でありたいと存じます。

昨年は十月一日に国勢調査が行われましたが、九千八百八十三人と川西町の人口がとうとう万人を割ってしまいました。次の国勢調査ではぜひ万人を超えるような町づくりを進めなければなりません。第三次総合開発計画では、人口一万二千人の町づくりを積極的に進めることになっていきます。十年間でこの目標を達するためには、年平均二百十一人の人口増を必要とします。

今年はいよいよ川西町が誕生してから二十五周年にあたります。昭和三十一年以来減少した人口は四千九百二十一人で減少率は三三・パーセントです。また四百二十八世帯が減少しています。この二十五年間、高度経済成長の荒波による大きな過疎化現象に度げられましたが、反面、合併当時では想像できなかった発展的変ぼうをもたらしました。適正規模の合併を成し遂げ、町民が一人丸となって町づくりに専心してきたたものでございます。

昭和五十六年もあらゆる面において容易ならざる厳しさが想定されます。公共事業の伸びが抑えられ、伸び悩む地方財政の中で町民各位の限らない要望に応え、地域の後進性を脱却するために先輩が培った四半世紀の尊い基盤の上に立つて、社会情勢の変化と住民意識の変ぼうに対応しながら、職務にまい進し、町民各位のご期待に添うべく、さらに決意を新たにします。

新年のご祝辞

議会議長

平野 圭二



輝かしい昭和五十六年の新春を迎えました。

まず、なによりも一万町民の皆様方のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

私も町議会は、町政運営の正しく誤りなきを期し、また、川西町各地域の実情を把握

し、調和のとれた町づくりを進めてまいりました。本年は任期満了の年です。この間、皆様方のご協力、ご指導に対しまして深く感謝申し上げます。これからも、最善の努力を尽くします。悪条件を克服して住みよい町づくりのため、五十五年度の投資は十億七千万円となっています。広報などでご承知のとおり、学校、水道、それに道路、また、このほかに土地改良事業、新農業構造改善事業等で、先進地に追いつき、追い越す意気を示しています。

五十四年度の決算におきましては、一般会計の歳出二十六億八千万円と特別会計の七億一千万円を合すると三十三億九千万円余りになります。このうち、自主財源（町で出すお金）は一八パーセント弱で、あとの八二パーセントは依

存財源（国や県からくるお金）です。こうしたことから、議会でも町当局と一体となって、国や県へ働きかけなければなりません。昨年は、冷害や織物産業の不況、また、石油問題などで、私たちの生活も大きな影響を受けました。国勢調査人口が万人を割ったことも深刻に受け止めなければなりません。この中にあって、機械ジャロコの進出は明るい話題でした。優れた工場の誘致や雪資源の開発などは、町をあげて取り組まねばならないと考えています。また、町での消費、建設、貯蓄等を図っていくこともたいせつです。

地方自治体の健全な発展は、国家発展の基本です。波高き地方の時代をお互いの協力で乗り切るよう、お願い申し上げます。

新しい嘱託員

①

(敬称略)

【千手地区】

○中島町・相崎武三郎、○山野田・清水ちい、○発電所通西・工藤逸夫、○発電所通東・田中英一、○永久公舎・高橋福二、○山野田住宅・室岡倉一、○朝日町・高橋誠二、○四郎兼・平野益三、○東善寺・北村健一、○上町・丸山和夫、○中央町・馬場文雄、○田中町・太田一雄、○神社町・小林スズイ、○学校町・高橋芳江、○中屋敷・富田幸二、○寺尾・清水順策、○木島町・南雲国平、○沖立・数藤貞義、○伊友・羽鳥力夫、○高原田・小野塚潔、○坪山・中村謹治、○霜条・蔵昌信義、○鶴吉・田村伸夫

【上野地区】

○上野・高橋 実、○新町新田・渡辺一郎、○三領・高橋正二

【橘地区】

○木落・田口一男、○寺ヶ崎・清水邦吉、○塩辛・藤巻一郎、○仁田・平沢徳松、○野口・大久保武義、○原田・丸山英一、○根深・丸山ユリ、○下原・須藤博英

の 所 感

昨年とはうって変わって、豪雪の中で新しい年を迎えました。

五日の午後三時には、川西ダム付近での積雪が、二メートル八十センチになりました。町では、早速豪雪対策本部を設置し、大雪に対処しています。

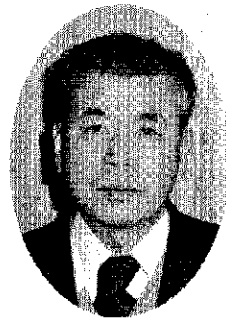
さて、どなたも年の初めには、その年の無病息災を祈り、また、いろいろの目標を立ててお進みのことと存じます。そこで、今回は各方面で活躍の方々に、わたしの年頭所感という題でお聞きしてみました。

よい年でありますように。

良い時計

―長男との対話から―

坂井雄三先生（川西高校長）



のころであったと思います。

夕食時、長男は新しい時計を買ってもらったのがうれしかった。しきりと時間を確かめるように見るのでした。親として子供が喜ぶ姿を見るのはうれしいことではありません。買ってやってほんとうによかったと思ったものでした。

「お父さん、良い時計というのはどういう時計？」と長男は私にたずねたものでした。

そのとき、私はふとスイスの少

老人交通安全対策

五つのポイント

高橋作平さん（中仙田）



老人交通安全対策について皆さんお願いします。

①おじいさん、おばあさん、車道に出るときには必ず右左をよく見て、いま一度右を見てからにしましょう。左側を歩いている方が見がけられますがいけませんよ。

②老人ばかりではありませんが、道路で立ち話をしている方がだいたい見られます。たいへん危険なこ

年時計工が技師に同じ質問をしたのを思い出しました。

「良い時計というのは、ねじを巻きたてのときも、ねじがゆるんできたときも正確な時刻を示す時計であり、また寒いときでも暑いときでも狂わない時計だよ」と話してやりました。そして正確な時計と人間の生き方がよく似ていることも付け加えたのでした。

そしてさらに私は良い時計というのは、その置かれた位置によって左右されず、狂わないで正確な時を示すのが最高だといわれていることも付け加えて結んだものでした。

長男は、この話をどう受け取ってくれたのか知らないけれども、子供なりに理解してくれたと思っています。

小さな善意も

やがて大きく実ります

富井貞雄さん（上野）



私は今から十五年ほど前から、衛生推進員の仕事に携わっています。

以前はカヤハエの発生などでたいへんなものでした。その後生活様式も変わり、また町で発生源となるゴミの集収を行うようになってからは著しく減少し、その効果の大きかったことを深く感じています。

河川の汚れも皆さんのご協力に

よって改善されてきました。今後、下水溝など毎月のそうじを忘れないでやってくださるようお願いいたします。

近ごろ、国道二五二号線沿いに空きカンなどのゴミの散乱がはなはだしく目立ち、私たちも何回か空きカン拾いに出動していますが、なかなかこの問題は解決しません。部落内でも近くにゴミが落ちていたら拾って家のものといっしょにし、ゴミステーションに出してほしいものです。

紙くずなどは家の近くで燃すと思いますが、その中に化学製品などものすごい悪臭を放つものが混じることがあります。こういうも

たわ 年頭

土地に力を打ち込む

― 農家の主婦として ―

藤巻 八重子 さん（塩辛）



農家に生まれ、農家に嫁いで二十数年過ぎました。

結婚当初はほとんどの家が専業農家で、たんぼへ行ってもあちらこちらに人の姿が見られ、お互い言葉を交わし合ったりしてとても楽しいかったです。

とです。また、年寄りになると、目や耳、それに足下も悪くなりやす。車道に出るときは車が来たかどうかよく確認してからにしてください。それから、斜め横断も非常に危険なのでやめましょう。

③自転車に乗っている老人の方がいますが、交通ルールはご存知ですか。たとえば、右に曲がる時には右手を水平にあげる。左へ曲がるには右手をひじから折り上にあげてからにする……など。交通ルールの勉強をしましょう。道路を横断するときには、必ず自転車を降りて渡ってください。

④運転手の方にお願います。雪が降ると消雪パイプの水で道路がぐちゃぐちゃになりますので、歩行者のいるところでは、スピードを落して通ってください。

⑤夕方から夜にかけては、老人の方はなるべく外出を控えることです。もし出るときには、車からよく見えるような明るい服装に心掛けましょう。

以上のことを守り、老人の交通事故を防ぎましょう。（高橋さんは、老人交通安全推進員です）

しかし時代は変わって、県営ほ場整備事業、第二次構造改善事業などが行われ、農作業に人件費はかからなくなりましたが、金銭的には苦しく感じます。男の方は勤めに出るようになり、女の方も内職といったぐあいに、現金収入を得るため一生懸命です。

当時は、だれもが「たんぼが大きくなってよかったのオ」とたいへん喜びました。

それともつかのま、私たちにとって非常に困る減反が命ぜられまし

た。ほ場整備の費用を払っているたんぼに稲を植えられない、なんと悲しいことでしょう。

五十六年度から三年計画で始まる「第二期減反」も最終決定したとのこと。

家では、主人が勤めているので、私が減反を含め一・五ヘクタールの水田の管理をしています。転作物物の作付けをしても後の管理がでない状態です。今後ますます増える減反に、どのように対処して行ったらいいのかが悩みの種です。

けれども、これも農業に生きる人の宿命でもあるので、許される範囲の土地に力を打ち込んで、これからはがんばって行こうと考えています。

のは近所に迷惑をかけないよう、燃えるゴミとして集収日に出すようにしてください。焼却場では燃えやすいゴミを多く出してもらいうことにより、燃料節約の足しになります。

一人一人の行う善意は小さくとも、美しい町づくりの支えとなつて大きく実るのではないのでしょうか。

バドミントンで

県青年大会出場を目ざす

平野 久美子 さん（木島町）



な気になるのは、バドミントンというスポーツの魅力もありますが、いっしょに楽しむ人たちの影響も大きいのです。

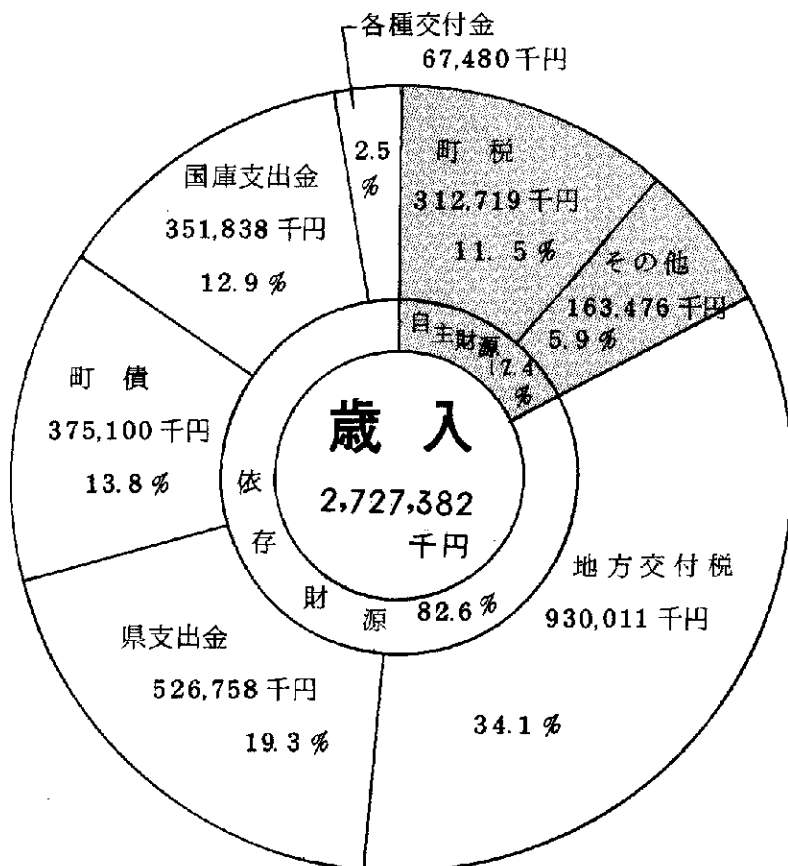
毎年、今年の目標なるものを立ててはいますが、初心忘れるべからずの言葉を切々と感じながらも、いつも三日坊主に終わっています。我ながらあきれかえるほど根気がないので、こんな私でも五年以上続けているものがあります。

それはバドミントンです。これだけの間続いているのは、やはり仲間という同じことに汗を流せる人たちがずっと私を引き付けていてくれたのだと思います。

総合体育館で週二回、夜七時半ごろからの練習ですが、寒くて行きたくないと思うこともあります。しかし、行かずにはいかないようにしています。

私にとっても、協会の練習や大会等を通じて、年齢や男女の差別なく、さまざまな人と知り合いになれるのはいへんうれしいことです。これからも人の輪を閉じることなく、さらに広げるよう努力したいと思っています。さしあたって今年の目標は、また青年大会の県大会に出場できるようがんばることです。

今回は、五十四年度の一般会計決算について、その概要をお知らせします。決算額は、五十三年度よりも歳入歳出とも〇・三％減少しました。前年度よりも決算額を下回ったのは、昭和三十四年度以来です。これは、前年度に総合体育館建設や多くの災害復旧などがあり、決算規模全体が大きかったことによります。歳入では、地方交付税が三四・一％を占めてトップですが、厳しい財政事情により、伸び率は前年度の二〇・二％から七・四％と大きく下回りました。町税も前年度の十一・三％の伸びより、〇・二％下回っています。町の借金の町債は、



一般会計 状況です

※町民1人当たりの歳出額は
263,484円となっています。

土木費

322,291千円
(12.0%)

▶道路台帳作成 5,860 ▶国県道工事負担 25,010 ▶町道舗装修繕等 10,987 ▶同新設改良 (20か所) 121,514 ▶同物件補償費 3,188 ▶雪害対策 48,014 ▶山野田川改修 6,500 ▶急傾斜地崩壊対策負担 5,050 ▶ガケ地付近危険住宅費 2,930 ▶危険住宅移転補助 2,844

災害復旧費

251,600千円
(9.4%)

▶農林水産施設 (162か所) 176,493 ▶公共土木施設 (54か所) 57,651

公債費

203,733千円
(7.6%)

▶元金 89,956 ▶利子 113,777

税金

(町民1人当たりでは)



町民税
9,864円

固定資産税

17,218円



軽自動車税
482円

たばこ消費税 2,214円

電気税 1,075円

木材引取税 8円

合計

30,861円



▲除雪作業中

労働費 490千円

(一%)



▲献血に訪れた人

衛生費

111,362千円
(4.1%)

▶衛生施設組合負担 37,473 ▶水道事業繰出 10,000 ▶簡易水道繰出 14,664 ▶各種検診等委託 5,282

54年度一般会計

歳入	27億2,738万2,822円
歳出	26億8,089万2,589円
差引黒字	4,649万0,233円

歳出 2,680,892千円

三・四％の減ですが、予算に占める割合は三・八％で町税より多くなっています。自主財源（町が自力で集めるお金）は一七・四％しかありません。

一方、歳出で目立ったものは民生費で、六八・〇％の伸びです。千手保育園建設が大きなウェイトを占めています。また、災害復旧費も五十三年六月二十六日の梅雨前線豪雨復旧のため、三七・六％と伸びました。建設事業などの投資的経費は五〇・九％で前年より一一・九％も低くなっています。

実質収支は、四千六百四十九万円の黒字で、財政運営は健全に進められました。

農林水産業費

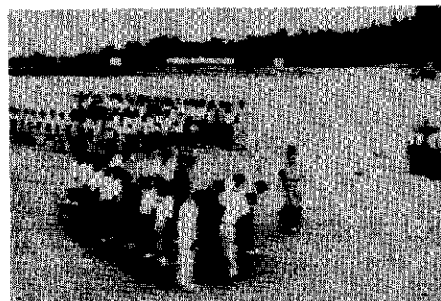
454,618千円
(17.0%)

▶基盤整備補助10,000 ▶十日町家畜指導診療所運営協議会負担2,128 ▶水田利用再編特別交付金6,536 ▶湿地用チルトドーザー 8,700 ▶パワーショベル 5,580 ▶自動製縄機・縄仕上機 3,025 ▶新農構土地基盤整備補助 58,833 ▶近代化施設整備等補助 19,926 ▶特産営農団地育成対策補助 4,887 ▶地域農政特別対策補助 3,000 ▶農業集落下水測量設計 9,900 ▶モデル町道整備 58,174 ▶同防火水そう整備 6,908 ▶フラッシュ連絡水路整備 10,058 ▶新町新田農村公園整備 9,006 ▶林道峰方線開設工事 18,060 ▶造林事業 53,362 ▶ニシキ鯉温水越冬施設 24,950 ▶同水そう・ポンプ 2,830

教育費

449,973千円
(16.8%)

▶千手小校舎建設 144,251 ▶同既存建物整備 15,000 ▶同特別教室設備 5,000 ▶上野小屋体建設関連工事 3,400 ▶同消パイ布設 2,600 ▶橋小グランド擁壁設置 2,450 ▶仙田小敷地整備工事 6,250 ▶千手小視聴覚器材 7,980 ▶川西中理科室改修 5,570 ▶総合体育館駐車場造成 7,000 ▶庚塚運動場建設 34,404



▲庚塚運動場で

昭和54年度

やりくり

民生費

379,076千円
(14.1%)

▶なかまの家福祉会補助 4,960 ▶町社会福祉協議会補助 3,899 ▶老人医療費扶助 50,842 ▶マイクロバス収納庫建設 3,510 ▶千手保育園設計・監理 6,200 ▶同改築 118,808

総務費

344,104千円
(12.8%)

▶役場駐車場舗装 2,740 ▶浦佐駐車場用地買収 12,183 ▶中子関係物件補償 39,983 ▶広域事務組合負担 4,579



▲千手保育園と園児たち

消防費

85,411千円
(3.2%)

▶広域消防負担 81,732

議会費

39,167千円
(1.5%)

商工費

20,417千円
(0.8%)

▶町商工会補助 2,500

諸支出金

18,650千円
(0.7%)

▶教員住宅譲受代金 18,650

丸山仁吉さん

農林水産大臣表彰を受賞



旧ろう十日に、統計調査員の丸山仁吉さん(下原)が、一九八〇年世界農林業センサス功績者として、農林水産大臣表彰を受賞しました。

統計で

した。(伝達は同十六日新潟市で) 農林業センサスは、農林業資源総量とを把握し、農政推進上や生活環境の諸計画を策定する資料を得るため、五年ごとに実施されます。昨年は二月一日に行われました。丸山さんは、各種統計調査の調査員として活躍され、なかでも、国勢調査には昭和二十五年から携わっておいでです。

善意

次の善意が社会福祉協議会に寄せられました。

- ※父政治さんが亡くなられた丸山虎尾さん(野口)から二万円
- ※母ムメさんが亡くなられた蔵品三勇平さん(霜条)から三万円
- ※なかまの家建設資金として
- ※関口潔さん(千手小学校)から四万一千八百十五円
- ※千葉県の押木三平さん(田戸出身)から、一万円

広報発行の一助にと

千葉県の押木三平さん(田戸出身)から、一万円



ふるさとへの思い

心がぬくみます

足立区 丸山伴四郎さん(七十一歳)

- ・出身 木落
- ・離町 昭和3年

広報かわにしを、毎月十部ずつ送っていただき、在東京の方々へ私から届けておりますが、皆さんからたいへん喜ばれ、読まれている様子です。

私は、昭和五年に上京以来、現在のタクシー業を続けておりますが、その間、戦争による混乱期などもあり、現在まで経営は苦勞の連続でした。また最近、エネルギー問題や大気汚染をはじめとす

る公害問題などで、心の休まる暇もありません。そんな毎日ですが、郷里の実家からの便りやら、広報かわにしなどにより、生まれ故郷のあの広々とした田園風景や、近くの山々、信濃川、それに村の人々、特に旧友の姿を思い浮かべて、心のぬくもりを楽しんでいる今日このごろです。

郷里の町も、田畑の整地、道路

の整備等ですばらしい発展ですが、これを計画実施される町の方々の苦勞をお察しするとともに、なおいつそのご努力をお願いいたします。また、今後も、郷里から遠く離れて生活している私たちへ、ふるさとへの便り「かわにし」を送ってくださるようによ。

皆さんのご健康とご幸福をお祈りいたします。

わしの自慢

テレビを見るより

「ししゅう」です

寺尾 清水ミヨさん

清水さんは、毎日を忙しくお過ごしの方である。

春はぜんまい取り、夏は田の草取り、そして秋は角万寺の畑が待っている。また、はちギクづくりも趣味で、山から落ち葉を集めて、堆肥づくりから始めるという本格派である。

「ギクは、春からいっしょうけんめいかわいがってやらなければ、きれいには咲かない、やっと咲いたかと思えばすぐ散ってのオ」

ものを育てることや作することは、苦勞が多ければ多いほど後の楽しみが大きくなると説く。

春、夏、秋まで話してくれた。それでは冬は――。

「テレビばかり見ていられないので、内職をちよつと、それから、ししゅうを楽しんでいてエ」

奥の方から、だるまの七転八起の絵やアルプス、松に金鳥、それ

に七福神の絵を持ち出してきた。みごとなできばえのものばかりだしししゅうでいちばん難しいところだ。

「わくに布を張るのがめんどうで、張り方が弱いと刺しにくい。しわも寄ってくるのオ」

何事も準備が肝心である。

「色合わせもなかなかめんどろで、この七福神の絵も、三十種類ほどの糸を使っているてエ」

下絵は描いてあるとのことだが、根気がいる。熱中すると夜の十二時ごろまでもやるというハッスルぶり。七福神の絵は、一日三、四時間で十日ぐらいかかったという。

「できたのはほとんど知り合いの人にやってしまうがんそオ」

皆さんは、知り合いになんたくは――？

▼ ガクに囲まれた清水さん



1月20日から 郵便料金改正

●郵便料金が1月20日から別表のように改正されます。

《新郵便料金表》

			現 行	新 料 金
第一種 (封書)	定 形	25gまで	50円	60円
		50gまで	60円	70円
	定 形 外	50gまで	100円	120円
		100gまで	140円	170円
	郵便書簡		50円	50円
第二種 (はがき)			20円	40円 (年度内80円)
第三種	毎月8回以上発行する新聞紙	50gまで	15円	25円(予定)
第四種	通信教育	100gまで	8円	12円(〃)
書 留	現金10000円まで		300円	350円(〃)
速 達	通 常	250gまで	150円	200円(〃)
	小 包	2kgまで	250円	300円(〃)



新潟県史 ただいま予約受付中

新潟県立県百年の記念行事として、かねて編さんを進めてきた「新潟県史」は昨年に続いて、五十六年三月末に四巻が刊行となります。

刊行予定の四巻は、未公開の史

●申込先

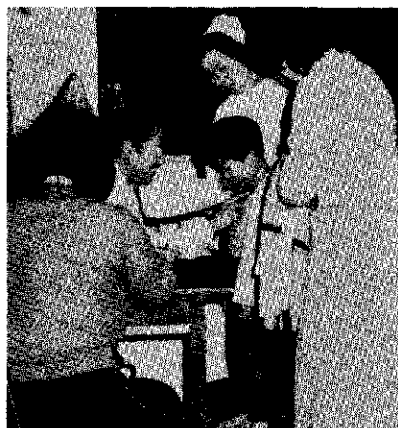
県総務部県史編さん室(〒951新潟市学校町通一番町) ☎二五二

料を多数紹介しており、新潟県の歴史を知るうえでの貴重な資料集です。
この機会に多くの皆さんの購読をお勧めします。

●今回刊行巻の内容

- 原始古代 二文獻編 四六〇〇円
- 近世一 上越編 四五〇〇円
- 近世二 中越編 四五〇〇円
- 近世四 佐渡編 四八〇〇円

●なお、既刊の近世下越編(四六〇〇円)、明治維新編I(四六〇〇円)も在庫があります。
(いずれも送料別)



健康診断 川崎先生から診ていただく

市内さんぽ
今年はいよいよ
うれしい一年生

年が明けて、今年はいよいよ、今年が待望の一年生になります。
就学予定者健康診断は、各小学校とも、昨年のうちに終わっています。
十二月には、千手小学校で健康診断が行われました。
子供たちは、幼稚園などで集団生活には慣れていいますので、学校でも心配はありません。
むしろ、親御さんのほうがたいへん。



「交通安全ちかひのことは」横山美晴さん

正月マラソン豪雪のため

交通安全講話に切り替え

二日に行われる予定だった恒例の正月マラソンは、豪雪のために道路事情が悪く、競技は取りやめ、急きよ交通安全講話に切り替えられました。

講師には、川西駐在所の山賀さんが当たられ、交通事故の実例などを話されました。
今年こそは、交通事故がないように……。

出願手続 入学願書・受験票・調

正午まで

募集人員 普通科一学年四十人
願書受付 二月二日から二月九日

十日町高校 定時制中心校 生徒を募集

二二二五五二二
●申込方法
はがきに住所、氏名、購入巻名、冊数、公・私用の別、電話番号などを記入のうえ、お申し込みください。

試験日 三月十六日(月)
その他 ①入学後、年間所得百十九万円未満の人には、国が卒業までの四年間、修学奨励金として、毎月七千円を支給します。
②以前に中学校を卒業した人も歓迎します。
③詳しくは、十日町高校定時制中心校へ(☎二五二五五二二三五七五・三五七六)

公民館だより

期 日	学 級 講 座 名	学 習 内 容	学 習 時 間	会 場
1. 16 日	田中 婦人学級	室 内 ゲ ー ム	午 後 7:30~9:30	田中公民館
1. 26	育 年 学 級	レクリエーション	〃	総 合 セ ン タ ー
2. 6	新町家庭教育学級	高校生の家庭教育	〃	新町公民館
2. 10	元町家庭教育学級	高校生の家庭教育	〃	元町集会所
2. 11	上野家庭教育学級	閉 級 式	〃	上野分館
2. 15	千手婦人学級	レクリエーション	午 後 1:30~3:30	旧千手中学校体育館

くしんかん

ガンの「くせ」を 心得ておきましょう

日本人の死亡原因の二番目になっているガンとはどんな病気なのか、考えてみましょう。

日本人にいちばん多いガンは、男女とも胃ガンです。次は、男性が肺ガン、女性では子宮ガンとなっています。

川西町では、死因別にみますとガンによる死亡数は、脳血管疾患に次いで第二位です。

ガンには四つの特徴があります。

◎その一つは、異常なふえ方です。ひとたびガン細胞がふえはじめると、非常なスピードで、周囲の正常な組織

を押しつけて増殖をします。

◎第二は、転移といわれる飛火です。はじめできたところのガン細胞がはがれ落ちて、リンパ

の流れや血管に入って、ほかの場所に飛火をして、そこにまたガンをつくりまわります。もとのガンを手術してとってしまっても、

この転移によって、ほかの場所にガンが残ってしまします。

◎第三は、ガンにかかるのだんだん体がやせてきます。

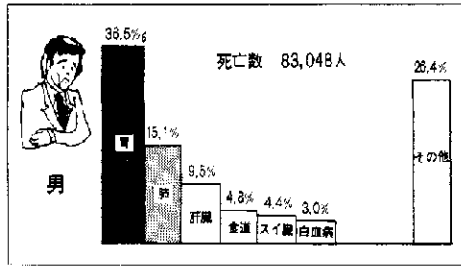
◎第四には、出血しやすいことと、胃ガンは、進むと便に血液がまじり、黒い便が出る

ことがあります。肺ガンは、血痰が出たりします。また、子宮

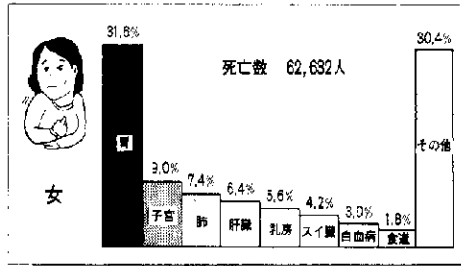
ガンは、出血しやすいです。

このようなガンの「くせ」をよく心得て、早期発見に努めま

1977年厚生省統計



日本人のガン どんなガンが多いか



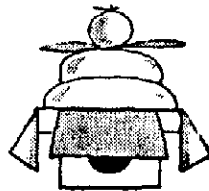
戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

宮 怜奈 新一 二女 東善寺
清水 一樹 之雄 長男 寺尾
小林 伸彦 浩一 二男 中仙田
星名 高子 武夫 長女 寺ヶ崎
田中 一気 正樹 長男 朝日町
丸山 学美 透 二女 発電所通
南雲 由香 久男 二女 中仙田
小林 宣昌 立雄 二男 中仙田

昇天—ごめい福を祈る

福原 厚 原田 三
登坂 松治 赤谷 六九
和久井豊治 木落 七一



かわにし 俳壇

太田白南風選

霜条 星名 星光

◎一斉に山動き出し野分くる

◎触れてゆく女の袖に菊揺る、

◎大根を抜きたる土の柔かし

秋の虹二重に立ちし信濃川

天も地も大根日和の、と口かな

中屋敷 山賀 芹子

釣人にテトラポットの小春かな

たかさこ—ご円満に

押木 ヨシ 元町 七三
上村 吉友 元町 八一
羽鳥 カウ 仁田 八二
佐藤 タカ 沖立 八七
田村 ミン 鶴吉 九一
平野 シゲ 四郎兼 九一
田中 ムメ 神社町 九一
藏品 ムメ 霜条 九四

◎新婦 金子 光一 大倉
◎新婦 池田 幸子 十日町市から
◎新婦 丸山 喜一 木落
◎新婦 澤口 敦子 下平新田から
◎新婦 和久井勝雄 木落
◎新婦 西川 信子 熊本県から
◎新婦 高橋 保治 中屋敷
◎新婦 小林 和美 中屋敷から
◎新婦 丸山 勉 木落
◎新婦 生越真知子 十日町市から

心配ごと相談

・1月14日……橘出張所
・1月21日……克雪センター
・1月28日……総合センター
・2月4日……上野連絡所

夜鳴鳴く三声目遠くかすれけり
鴨鍋の炉に四五人の夜を更かす
冬田道ペタル踏み行く頼冠り

大倉 金子 洋石

二三輪咲いて美事や寒牡丹
大雪に家埋まりて立つ煙

石段の踏みゆく霜や初詣で

開汁会師走の月の細かりし

残りたる村の一軒葉を打つ
大げさなくさめして老ここに在り
水漬をすすり上げたる大丈夫

野口 寅生

赤谷 高橋 笑子

12月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	死者	傷者
4	(2)	31	(19)	46
6	(2)	2	(3)	3
0	(0)	17	(19)	1
0	(1)	1		
1	(1)			

()内は 前年比較